

令和5年度
農業振興功績者表彰
受賞者

農業振興功績大賞

平 群 町 なか お よ し て る
中 尾 佳 照

農業振興功績賞

明日香村 あ す か
明日香バイオマルシェ

農業振興功績大賞

なか お よし てる

中尾 佳 照

平群町



[経営規模]

小菊（200種以上の多品種栽培）、花木
作付面積 624a
パイプハウス 10棟

[経営概要]

27歳の時に先代から小菊生産を引き継ぎ、栽培効率化につながる技術開発・導入を積極的に行い、規模を年々拡大。夏秋期小菊生産量日本一となる平群の小菊ブランド形成に貢献。

「西和花卉部会」の役員として、関係機関・市場と連携し、出荷体制の構築や低温貯留庫の整備等に尽力し、生産者は生産に専念、販売はJAという完全分業体制を実現させ、有利販売と労働環境の改善につなげた。

消毒作業の効率化を図る為、改良型T字型噴口をJAと一緒に開発し、労力負担の軽減、作業時間の大幅な短縮に加えて使用薬剤量の低減に成功した。

全国に先駆けて盆出荷用の電照栽培に取り組み、盆需要期の安定出荷による有利販売に貢献。環境面にも配慮し、当初の白熱灯から現在は消費電力の少ないLEDを普及させた。

また、電照を用いた端境期の施設栽培や簡易ネット被覆法による害虫防除などの先進技術に積極的に取り組むとともに、重量選別機や畝立てマルチャーなどの省力化、機械導入を進め、産地の発展に寄与した。

[表彰関係等]

平成14年 第31回奈良県農林水産物品評会 農林水産大臣賞
平成29年 第46回日本農業賞 大賞
奈良県花き植木立毛品評会 農林水産大臣賞
第56回農林水産祭 天皇杯（園芸部門）
平成31年 春の黄綬褒章

【推薦者】 平群町長

【可憐な小ギクの花束・アレンジメントに使える品種も栽培】

【平群町に立つ“日本一”を誇る看板】



【白色・赤色LEDを使った露地電照抑制栽培】

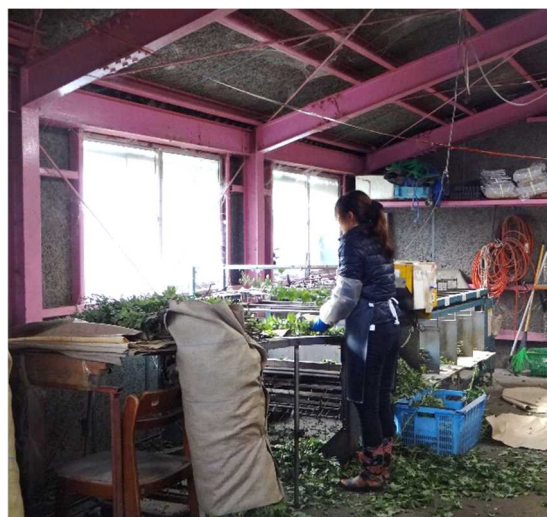


【改良型T字型噴口により労力負担が軽減された】



【薬剤散布の様子】

【重量選別機を使った選花作業】



農業振興功績賞

あすか

明日香バイオマルシェ

〔経営規模〕

構成メンバー32名

〔経営概要〕

明日香村への移住者が発起人となり、明日香村を中心に野菜、米、鶏卵等の有機農業に取り組む生産者や飲食店事業者など8名が平成24年に「明日香バイオマルシェ」をスタート。現在構成メンバーが32名になり、年々取り組みが拡大している。直接消費者に対面販売することで、市場で価格が左右されることなく、販売したい金額で販売するフェアトレードが実現。新規就農者の育成や農地の有効活用に寄与するとともに、有機食材を扱う飲食店や加工業者等の安定的な仕入れに寄与するなど、多様な人々の交流促進に貢献している。

令和2年より、「あすか夢の楽市（直売所）」内にバイオマルシェ商品の常設売り場を設置。国営飛鳥歴史公園と連携した「田植え祭り」や「古代米を愛でる会」などの公園内の農地を活用したイベントを開催。

中学校の課外活動として、年5回の「古代米プロジェクト」プログラムを実施。

令和3年、明日香村で農を楽しむ・学ぶ・食べる、食の大切さ、農ある暮らしの豊かさを伝える為の農業倶楽部”イチカラミナマデ”を飲食店経営企業と連携して立ち上げる。

〔推薦者〕 明日香村長



←毎週金曜日9:00~12:00に「あすか夢の楽市」
駐車場で開催 令和5年9月10周年を迎えた



←「あすか夢の楽市」内に設置されたバイオマルシェ商品の常設売り場



←マルシェ客を中心に発足した『お漬物の会』でワークショップを開催し、お漬物文化を広げる



←お漬物に使用される大和の伝統野菜”片平あかね”と同じ品種の”飛鳥あかね”を栽培品種の復活を図る